

編集後記

わが新潟県が含まれる北陸地方は7月28日に梅雨が明け、毎日30度を超える蒸し暑い日が続いていますが、皆様がお住まいのところはいかがでしょう？

たびたびニュースで取り上げられる関東地方などに比べると、これでも過ごしやすい気温なのでしょうが、今年も一番苦手な季節がやってきました。

今年の梅雨明けを調べて気がついたのですが、新潟県が含まれる地域区分というのは、他の都道府県に比べて特別多いような気がします。小学校では確か中部地方と習いましたが、今では細分化されて、気象庁の地域区分では上記のように北陸地方に含まれます。

最近では甲信越地方とか、上信越地方、信越地方などと区分されることも多いようで、関東甲信越と、東京と同じ地域に区分されることもあります。進駐軍時代には東北地方として統治されていたそうで、新潟県の電力を東北電力株が供給しているのは、その名残りだとか。電力業界などでは、今でも東北7県（東北6県+新潟県）という呼称が使われています。日本海沿岸府県の全てをカバーする日本海区水産研究所としては、日本海地方を新たに提唱したいところですね。

さて今号では、スルメイカ、大型クラゲ、ヒラメという、いずれも日本海沿岸の漁業に大きな影響を与える魚種に関する研究成果を紹介しました。興味をお持ちいただけましたでしょうか。ご意見・ご質問などがありましたら、遠慮なく下記までご連絡ください。

(日本海区水産研究所業務推進課長)

発行：独立行政法人水産総合研究センター

編集：独立行政法人水産総合研究センター日本海区水産研究所
〒951-8121 新潟市中央区水道町1-5939-22
電話：025-228-0451(代) FAX：025-224-0950
<http://jsnfri.fra.affrc.go.jp/>